

H30北海道胆振東部地震からの復旧～直轄災害復旧事業(農業)の進捗状況～

直轄災害復旧事業「勇払東部地区」(厚真町)



平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、厚真町内の厚真ダムや地域の基幹用水路である厚幌導水路をはじめとする用水路などの農業施設が甚大な被害を受けました。

室蘭開発建設部胆振農業事務所では、平成30年度から直轄災害復旧事業に着手し、地域の農業用排水施設の早期復旧に向けて事業を推進しています。

復旧に当たっては、被災要因の分析を行ったうえで、再度災害防止の観点などから復旧工法を決定しています。現在、復旧工事は順調に進んでおり、厚幌導水路をはじめとする用水路は、令和4年度に工事の完了を予定しています。工事完了後には復旧施設の機能確認などを行い、令和5年度には事業を完了させる予定です。

厚幌導水路(ボックスカルバート)の被災状況(R3.6)



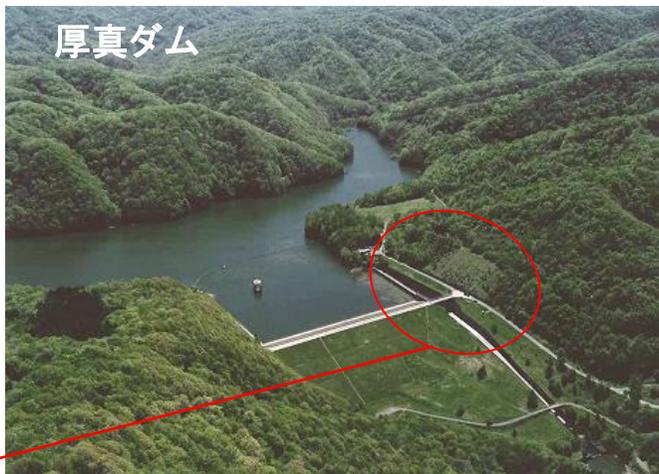
豊川分水路 基礎杭の被災状況(R3.6)



厚真ダムの洪水吐復旧工事（厚真町）

厚真ダムは、周辺斜面の崩落等により洪水吐（ダムの貯水量以上に水が流入した場合にダムの安全を確保するための放流設備）などが被災しました。今年度から洪水吐の復旧を開始しており、主要な工事は令和4年度に完了させ、令和5年4月からの試験湛水で施設の安全性を確認する予定です。

震災後は、地域の水田営農を継続するための用水確保が課題でしたが、施設復旧までの期間、暫定的な用水を確保するなどの対応をしています。



※厚真ダム諸元

ダム形式：中心遮水ゾーン型
フィルダム

ダムの大きさ

堤高：38.2メートル
（9階建てビルに相当）
堤頂幅：222メートル

貯水量：10,080千立方メートル
（札幌ドーム約6個分に相当）

R3.7.16 洪水吐の底版部の施工状況



トピックス

地域の特産品



厚真町は、胆振管内一の米どころ。
被災から3年目となりますが、今年も無事に収穫作業を終えました。
「さくら米」、「たんとうまい」と地域ブランドを確立しています。



JAとまこまい広域のブランド米の「たんとうまい」のうち厚真町で生産された米「さくら米」（ななつぼし）



厚真町産の酒米（彗星）を使用した日本酒

工事担当者から一言

厚真ダムの復旧工事は、規模の大きい工事なので、工事の安全管理、品質確保に留意して工事監督しています。厚真町の水田用水の早期確保に向けて業務推進していきます。

胆振農業事務所 第1工事課 北島技官



鉄筋の段階確認の状況

北海道総合開発計画

～強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成～

北海道総合開発計画では、地震・津波、火山噴火、頻発・激甚化が懸念される風水害、土砂災害から暮らしと経済を守るため、国・地方公共団体を始めとした関係機関が連携して国土の強靱化を推進します（以下抜粋）。

・地震・津波災害、火山噴火等の大規模自然災害への対応